

Aichi National Highway Office

Aichi National Highway Office

愛知国道事務所

平成23年2月10日
中部地方整備局
愛知国道事務所

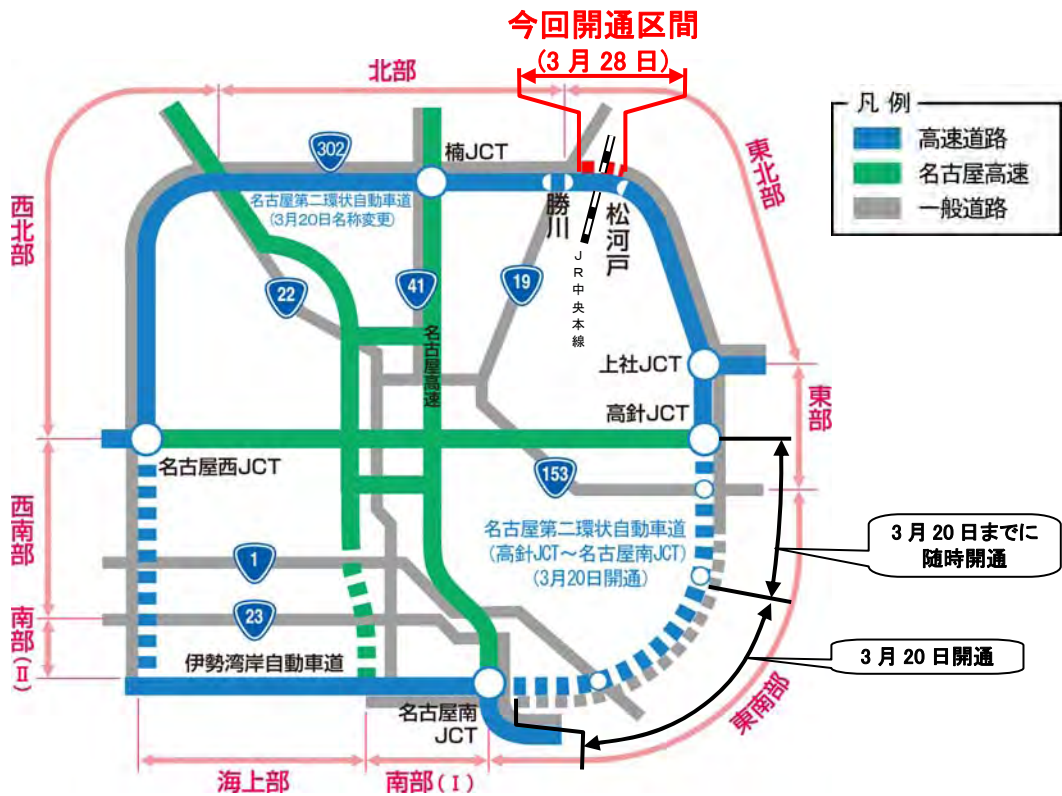
3月28日 勝川 国道302号 不通区間解消

～東北部(勝川地区)・東南部の開通により、国道302号全線がつながります～

国道302号東北部の春日井市勝川地区かすがい かがわ(JR中央本線関連区間)は、現在未開通となっておりますが、3月28日に開通できる見通しとなりましたので、お知らせします。

今回の開通により、春日井市勝川地区における東西方向の移動がスムーズになり、移動時間が短縮されます。また、JR中央本線と交差する地点は、鉄道が上を通る立体交差となり、踏切が原因となる交通渋滞や事故の恐れがありません。

この東北部(勝川地区)と3月20日に予定している東南部の開通により、国道302号(延長約59km(海上部除く))は全線がつながる(暫定開通区間含む)こととなります。



1. 開通日

平成23年3月28日(月)

2. 開通区間

<国道302号>

春日井市勝川町かすがわちょう～春日井市町田町ちょうだちょう 延長=約0.5km(暫定2車線)

横断図 (イメージ)



現地状況写真



勝川町4東交差点からJR中央本線を望む

3. 資料

- 資料1 国道302号東北部(勝川地区)開通区間詳細図
- 資料2 国道302号東北部(勝川地区)の開通効果
- 資料3 国道302号が全線つながります
- 資料4 【参考】国道302号の今昔(春日井市勝川地区)

4. 配布先 中部地方整備局記者クラブ、春日井市政記者クラブ

5. 問い合わせ先

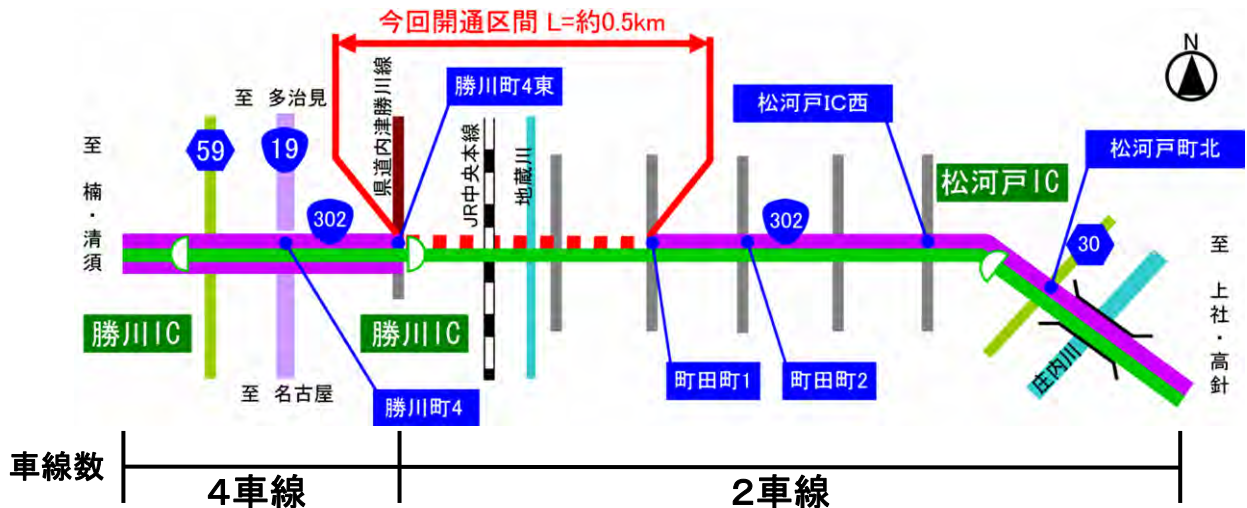
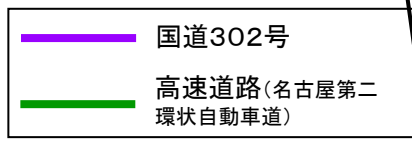
国土交通省 中部地方整備局 愛知国道事務所
副所長 前田 和弘(まえだ かずひろ) ・ 調査課長 桑 昌司(くわ まさし)
TEL:052-761-1191

1. 開通日：
平成23年3月28日(月)
2. 開通区間：
春日井市勝川町～春日井市町田町 延長=約0.5km(暫定2車線)

位置図



凡例



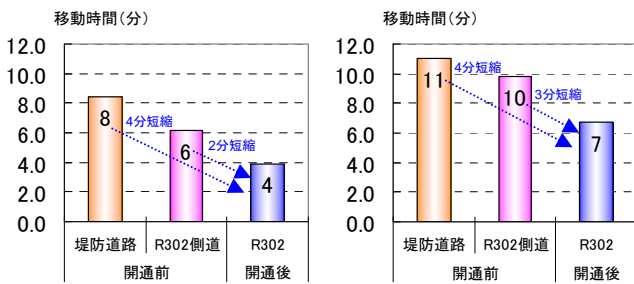
東西方向の移動がスムーズに、移動時間が短縮

春日井市勝川地区を東西に通過するような交通は、これまで未開通区間を迂回する必要がありました。国道302号がつながることで、東西方向の移動がスムーズになり、移動時間が短縮します。また、JR中央本線と交わる地点は、鉄道が上を通る立体交差で踏切がないため、踏切による交通の停滞や事故の恐れがありません。

勝川町4丁目交差点⇄松河戸町北交差点の移動時間が3割短縮

松河戸北 ⇒ 勝川4

勝川4 ⇒ 松河戸北



移動時間の短縮

※平日7時台の移動時間（旅行速度調査結果、一般車プローブデータ）。今回開通区間の移動時間は既に開通している区間の旅行速度を用いて算出。

生活道路を抜け道として利用する迂回交通の減少・交通事故の減少

現状では、未開通区間の迂回路として生活道路が利用され、朝夕などに渋滞が発生しています。国道302号がつながることで、これらの迂回交通が減少し、生活道路へ侵入する通過車両による交通事故の減少も期待できます。

迂回交通の実態



地蔵川渡河断面：日交通量 約1万4千台
朝ピーク時（7～9時）交通量 約2千台
※写真は平日朝のピーク時の交通状況



地域の方のご意見：春日井市勝川区 前川区長様

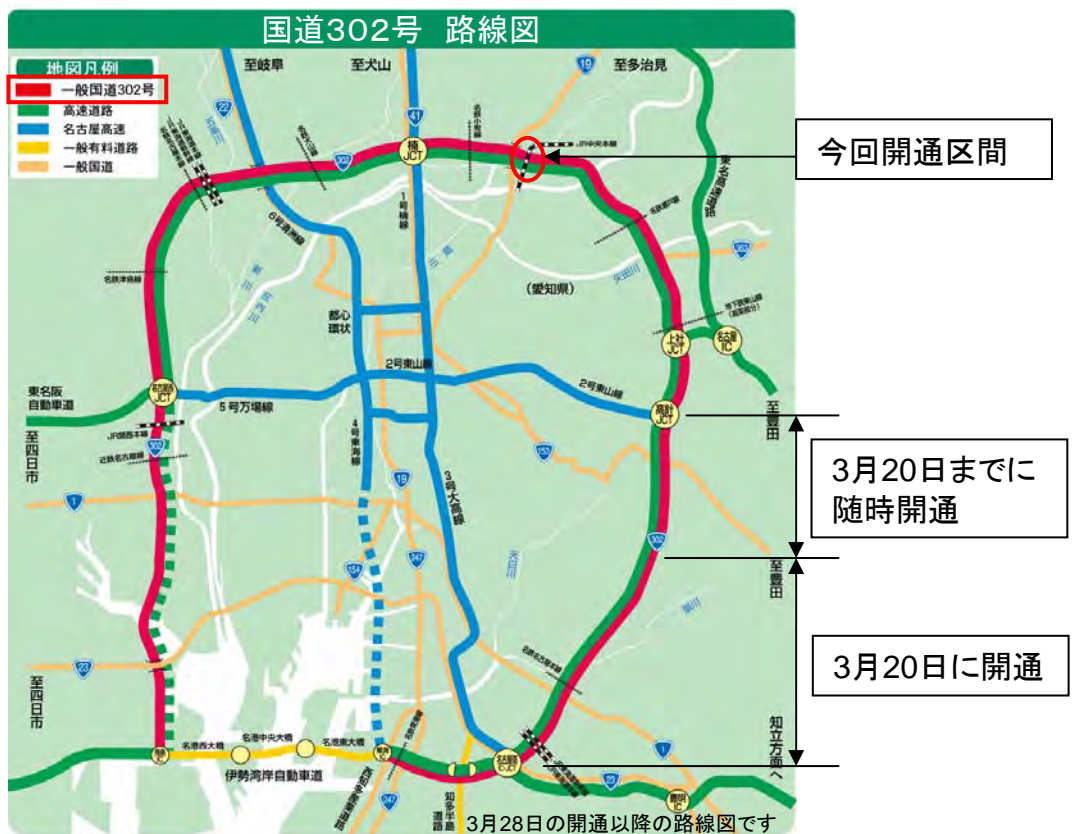
国道302号の開通は、区画整理事業終了後の懸案事項であったが、JR中央本線高架事業で、障害が取り除かれ、開通の運びになった訳ですが、幹線道路が貫通したことにより、車の流れが大きく変わり、今まで幹線道路の役目を担っていた生活道路の交通量の減少に期待が持てます。

また、交通の利便性も飛躍する事になり、春日井市の西の玄関口として、勝川は今後も発展が期待出来ます。

今回の3月28日の開通により、名古屋環状2号線(国道302号)は全線がつながります

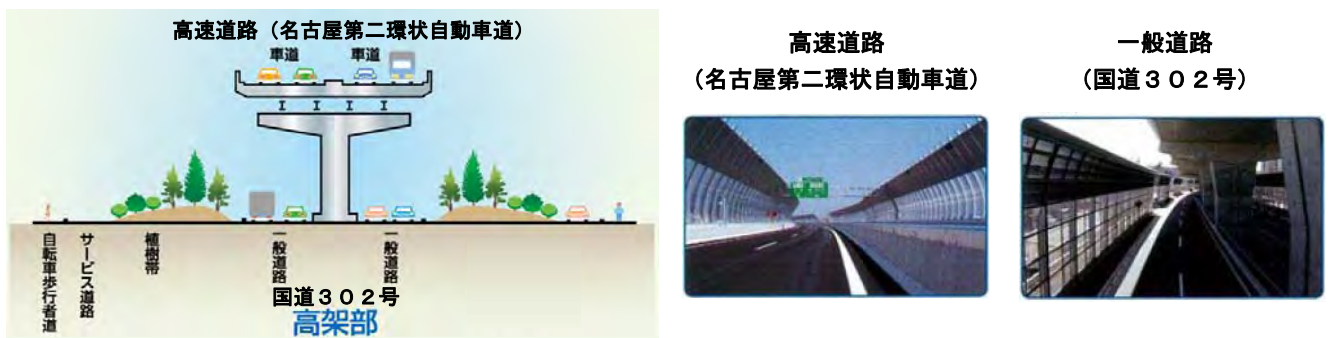
名古屋環状2号線のうち、一般道路である国道302号は、昭和55年4月に国道22号から国道19号間の約9kmを暫定2車線で開通した後、これまでに全長約59kmのうち、暫定2車線開通区間も含め約48kmが開通しています。

未開通区間のうち、3月20日までに開通する東南部(天白区～緑区間)約10km区間と、3月28日に東北部(勝川地区)が暫定2車線で開通することにより、全線(約59km)が開通し、鉄道交差点等、一部暫定2車線開通区間が残るものの、全線がつながることになります。



【参考:名古屋環状2号線とは】

名古屋環状2号線とは、名古屋市の外周部を通り、名古屋市を中心に放射状に伸びる幹線道路や名古屋高速道路を主要地点で連結し、名古屋都市圏をネットワークする延長約66kmの主要幹線道路であり、高速道路(名古屋第二環状自動車道(現 東名阪自動車道))と一般道路(国道302号)を併設する構造になっています。名古屋都市圏の交通混雑緩和、社会活動の発展などに寄与するものと期待されています。



高速道路(名古屋第二環状自動車道)と一般道路(国道302号)をあわせて名古屋環状2号線と呼んでいます

【参考】国道302号の今昔（春日井市勝川地区）

資料4

名古屋環状2号線沿線では、新市街地の開発が計画的に進められ、土地区画整理事業などにより新たな街並みが形成されています。

